

富津市社会教育委員会議会議録

1	会議の名称	平成 27 年度第 2 回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	平成 28 年 3 月 24 日 午後 2 時 00 分～午後 3 時 54 分
3	開催場所	富津市役所 401 会議室
4	審議等事項	<p>(1) 第 50 回千葉県社会教育推進大会について</p> <p>(2) 第 50 回千葉県社会教育振興大会について</p> <p>(3) 君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について</p> <p>(4) 富津市民文化祭 2015 について</p> <p>(5) 平成 28 年成人式について</p> <p>(6) 富津市民文化事業「ふつつ学びの門」について</p> <p>(7) 平成 27 年度富津市社会教育事業について</p> <p>(8) 平成 27 年度富津市社会教育委員の活動について</p> <p>(9) 平成 28 年度社会教育委員会議に向けて</p>
5	出席者名	<p>(委員) 森田健一、宮内和男、森田久、神子勇、小曾根勝己、大野泰代、三富和彦、杉田玲子、磯貝順子</p> <p>(事務局) 渡辺教育長、能城教育部長、中後生涯学習課長、山口公民館長、下間公民館副主幹、長濱社会教育係長、當眞市民会館係長、伊藤主査、平野主事、市川社会教育指導員、岩波社会教育指導員、仲野家庭教育指導員</p>
6	公開又は 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の 理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9	所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

第 2 回 富津市社会教育委員会議会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 中後課長</p>	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は何かとお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の進行は、生涯学習課長の中後が務めさせてさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、出席状況の報告をさせていただきます。本日の出席委員は9名、欠席委員は4名でございます。したがって、2分の1以上の出席がございますので、社会教育委員会議運営規則第3条第5項の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、ただいまから平成27年度第2回社会教育委員会議をはじめさせていただきます。はじめに三富委員長からごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>三富委員長</p>	<p>(三富委員長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 中後課長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、渡辺教育長からごあいさつを申し上げます。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>(教育長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 中後課長</p>	<p>(平成28年度事務局職員人事異動内示について報告)</p>
<p>(事務局) 長濱係長</p>	<p>(会議資料の確認)</p>

<p>(事務局) 中後課長</p>	<p>それではここで、会議の公開について、説明させていただきます。本会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により公開となります。このため、後ほど会議録署名人2名を決めていただきたいと思います。また、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>これより議事の進行につきましては、三富委員長により進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>よろしく願いいたします。それではまず、会議次第(3)「議事録署名人の指名」についてですが、私から指名することよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、大野泰代委員と森田健一委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>ご異議もないようですので、大野泰代委員と森田健一委員に決定いたします。両委員には議事録署名人をよろしく願いします。</p> <p>各事業に参加した委員の皆様から参加報告をお願いいたします。はじめに、報告(1)第50回君津地方社会教育推進大会について、小曾根勝己委員からご報告をお願いします。</p>
<p>小曾根委員</p>	<p>それでは、私から第50回君津地方社会教育推進大会についてご報告申し上げます。</p> <p>7月11日(土)、第50回君津地方社会教育推進大会が、君津教育会館にて開催されました。富津市社会教育委員は、三富委員長をはじめ委員6名と事務局の生涯学習課職員2名が参加いたしました。</p>

表彰状の贈呈では、富津市からは、個人の部で富津市文化協会会計であります山室文功氏、文化協会理事民謡部部長であります成田はな氏の2名が社会教育への功績が認められ表彰状が授与されました。また、本大会の共催である新日本製鐵株式会社君津製鐵所が、社会貢献賞として制定しているクローバー賞の表彰が行われ4団体が受賞し、富津市からは飯野地区活性化推進協議会が受賞しました。

式典終了後の記念講演では、東京大学名誉教授佐藤一子氏を講師に招き、「まちづくりとおとなの学び～地域の教育力を高めるために～」と題した講演が行われました。私たちを取り巻く環境が大きく変化する中、改めて地域の人間関係や絆作りが求められています。各地で住民が主体となった地域づくりの取り組みが広がっており、これらの活動を更に発展させるためには地域の課題に関する実践的な学習、学びあいとネットワークづくりが必要となります。地域で支える子育てなど、地域の教育力を高めるための取り組みを中心に「自治と協働のまちづくり」の可能性と、社会教育の役割についての講演でした。記念講演終了後、大会決議文が参加者全員賛成のもと採択し、閉会となりました。

今年度は、木更津市社会教育委員が中心に大会を開催し、319名の参加者で盛大に開催されました。富津市からは57名の参加でした。平成28年度は、君津市が開催市となりますので、委員の皆様、富津市から多数の参加をいただけるようご協力をお願いいたします。以上で報告を終わります。

(議長)
三富委員長

ありがとうございました。補足ですが、会場は前年度新日鐵を使わせてもらいましたが、諸般の事情で君津教育会館となりました。

委員の皆様から、ただいまの報告についてご質問などございますか。

委員

特になし。

<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>ご質問などはないようですので、次の報告(2)第50回千葉県社会教育振興大会について、磯貝順子委員から報告願います。</p>
<p>磯貝委員</p>	<p>それでは、第50回千葉県社会教育振興大会についてご報告申し上げます。</p> <p>11月16日(月)、第50回千葉県社会教育振興大会が、千葉県総合教育センター大ホールにおいて開催され、富津市社会教育委員は、三富委員長と杉田副委員長、高橋委員と磯貝の4名、事務局から中後課長が参加しました。大会は6つのプログラムがありましたが、そのうち3つの事例発表について報告します。</p> <p>事例発表① 長生地区「睦沢のむかしばなし」</p> <p>睦沢町社会教育委員久我秀子氏ほか2名から報告がありました。睦沢町は、人口約7,300人、世帯数約2,700、子ども園1園、小学校2校、中学校1校の町です。地域に伝わる郷土や伝統が継承されていないことに危機を覚えて、高齢者の方々への聞き取りや、現地を調査し、郷土の伝統や民話を本にまとめ次世代に伝えることを目的としています。平成25年に睦沢町立歴史民族資料館友の会にて「睦沢の伝説と民話」の10話を再調査しました。平成26年には地域活性化住民提案事業1年目に「睦沢のむかしばなし」という組織を立ち上げ、6話を、27年には3話を易しい文章に直しました。睦沢のむかしばなし第1集を発行し、随時紙芝居を上演しています。平成28年度には第2集、29年度には第3集を発行予定とのことです。</p> <p>事例発表② 夷隅地区「大多喜図書館天賞文庫の活動について」</p> <p>大多喜町教育委員会生涯学習課からの報告でした。図書館運営、及び読書活動を充実、活性化を図るための取り組みを行なっています。中でも、読み聞かせボランティアグループ「読夢(ドリーム)の会」の協力により数々の事業を実施しています。図書館での各種事業は、ブックスタート、おはなし会・映画会、大人のための朗読会、ボランティア、職場体験の受け入れ、各種講演会、移動図書館などがあります。今後の課題として、図書館利用、読書活動の推進、資料収集・</p>

整理・保存、地域情報の発信などが挙げられていました。

事例発表③ 安房地区 「命を育む棚田から 実りある社会教育へ～大山千枚田保存会の活動から～」

鴨川市社会教育委員石田三示氏から報告がありました。大山千枚田では里山の環境を生かした教育を実践しています。大人と子どもがともに米作りをし、お米一粒の大切さを学んでいます。また、年間4,000人が参加する観察会では雨水だけに頼る棚田の特別な生態系に触れ、環境を守ることの大切さを伝えていました。

記念講演 講師 聖徳大学名誉教授 福留強氏

演題 「未来を築く 人づくり・まちづくりをめざして」 高齢社会のコーディネーター

多くの話がありましたが、抜粋して報告します。何歳まで健康に暮らせるのかという健康寿命は、男性 70.42 歳・女性 73.62 歳ということで、人口の約3分の1は高齢者の発想を持っていなければなりません。かつては高齢者を 60 歳としていましたが、これからは7掛けの年齢でということなので 60 歳だったら、40 代のつもりで学ぶことで老化を防ぎ、若返った自己の力を地域に生かしていきます。自己を生かし、自身をよりよく創り変え、積極的に生きようとする生き方という「創年」が関わる意義として、孫の相手、若い親への助言・支援・協力といった子育て支援少年・青年・女性への支援があります。高齢化社会での生き方、地域づくりや社会づくりの中核としての役割が広がっています。

この後、千葉大会分科会シミュレーションを行いました。来年度の全国大会の分科会をスムーズに運営するために、本年度の振興大会で検証しました。分科会の進め方として、討議 20 分・発表 10 分で4人～6人でグループをつくり、講演を聞いての感想や意見を話し合うこととしました。司会や記録の指定はしないで、抽出グループでの発表、シミュレーションの結果により、改善すべきところなどを検証をしました。私たち君津地区は話し合いのオブザーバーとして参加し、どのグループも積極的な話し合いがなされていたと感じました。

以上で、第 50 回千葉県社会教育振興大会について報告を終わり

<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>ます。</p> <p>磯貝委員からの報告は終わりました。委員の皆様から、ご質問などございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>来年度の10月26日～28日の3日間にわたり、千葉市で全国大会が開かれます。これは千葉県の主催ということなので、県内各市町村の社会教育委員はぜひ出席をお願いしたいとのことです。</p> <p>特にご質問などはないようですので、次の報告(3)君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について、杉田副委員長から報告をお願いします。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>それでは、(3)君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について、ご報告申し上げます。</p> <p>12月16日(水)に、平成27年度君津地方社会教育委員連絡協議会研修会が君津市生涯学習交流センターにて開催されました。研修会の参加者は総勢34名で、富津市からは、三富委員長、高橋委員、小曾根委員、森田久委員、杉田の5名、その他事務局から長濱係長の6名で参加しました。平成28年度に全国大会が千葉県で開催されるとのことで、研修会のテーマは新たなスタイルの語り合いで社会教育の可能性を再発見しようというものでした。今回の研修のテーマは2つの柱があり、1つ目は、ワールドカフェ方式、グループ方式、全体的話し合いという3つの話し合いの手法をこの研修を通して体験する。2つ目は2件の実践報告から社会教育の可能性を考えるということでした。この事例報告の内容について報告いたします。</p> <p>① 地域に生きるさまざまな人をつなぐ社会教育の役割</p> <p>君津市小糸公民館は、地域団体と連携した事業が特色であり、地域に児童養護施設「はぐくみの杜君津」が設立されることから、地域住</p>

民との関わりにおいて公民館の協力が必要とされ、住民向け学習会の企画から開所式の手伝いまで協力しました。公民館側の取り組みとして、数々の話し合い地域の現実を知ることができ、学級講座の意味を考えるきっかけとなりました。また、情報交換を重ねることで地域の偏見を緩和することができました。

② 生き活きとした地域をめざす社会教育の可能性

君津市清和公民館から「清和手づくりマーケット」について事例報告がありました。清和公民館を会場にし、2回のフリーマーケットやバザーを開催しました。実施の背景目的としては、公民館利用者やサークル構成員の高齢化と固定化という課題があり、新しい取り組みを行うことで、公民館を利用しない人が多い年代にも公民館に足を運んでもらおうというねらいがあります。また、買い物弱者が課題であると認識し、これに対して住民自身がどのように向き合っていくかということも考えるきっかけとしています。公民館の機能の1つに産業振興があり、このマーケットにより清和の特産品をアピールしたり、手作り品の中から新しい清和の特産品が生まれたりする効果も狙っています。手作りマーケットの成果課題として、1回2回と回数を重ねたことでこのマーケットが浸透しており、反省点もいくつかあるが当初の実施目的を再確認し、現在3回目の実施に向けて準備を進めています。

最後に研修会に参加した個人としての感想ですが、君津市の2つの公民館職員は積極的に地域とかかわりを持とうという姿勢が強く感じられました。それぞれの公民館が地域住民と同じ目的に向かって話し合いを重ね、実現へ向かっていったという実践報告でした。私たち富津市社会教育委員も同じ目的目標をもち、それに向かい具現化できたらという強い気持ちを持ちました。

以上で、君津地方社会教育委員連絡協議会研修会についての報告を終わります。

(議長)
三富委員長

杉田副委員長からの報告は終わりました。委員の皆様から、ご質問などございますか。

委員	特になし。
(議長) 三富委員長	ご質問などはないようですので、次の報告に移ります。(4)富津市民文化祭 2015 について、(5)平成 28 年成人式について、(6)の富津市民文化事業「ふつつ学びの門」の報告については、それぞれ公民館事業となるため、山口公民館長から続けて報告をお願いします。
(事務局) 山口館長	<p>それでは、報告(4)富津市民文化祭 2015 についてから、ご報告申し上げます。富津市民文化祭 2015 は、10 月 30 日(金)から 11 月 3 日(火)までの5日間、富津公民館・中央公民館・市民会館・総合社会体育館の4会場で開催されました。ポスターにつきましては、市内小中学校に募集したところ、233 点の応募がありました。その中から飯野小学校6年生桐谷光季さんの作品が優秀作品としてポスターに採用されました。また、メインテーマは、市内小中学校および一般から募集をしたところ 484 点の応募があり、その中から優秀作品として、富津中学校3年生小柴真凜さんの「楽しもう みんなで作る 文化祭」が採用されました。11 月 2 日は雨天となりましたが、それ以外の日は天候に恵まれ、多くの方々の来場をいただきました。富津公民館では小中学校音楽のつどい、芸能祭、子ども祭り、中央公民館では芸能祭、民謡ショー、市民会館では、太鼓や芸能祭など日頃の活動の成果を発表しておりました。文化祭全体の出演・出展者数は 3,590 人で昨年比 10 人増、参観者数は 17,469 人で昨年比 2,914 人増でした。平成 28 年度実施予定の富津市民文化祭 2016 は 11 月 3 日から 6 日までの4日間を予定し、準備委員会を進めております。会場も今年度と同じく4会場を予定し、内容については随時開催予定の準備委員会で進めていく予定です。</p> <p>続きまして(5)平成 28 年成人式は、1 月 10 日(日)午後 2 時から富津公民館にて、暖かい天候のもと開催されました。来賓招待者 97 名を向かえ午後 2 時から開式いたしました。本年の該当者は平成 7 年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた市内居住者及び市外転</p>

出者のうち希望する者で 452 名が対象で出席者 349 名、出席率は 77.2%でした。式典は、例年のとおり「新成人の司会進行」で始まり、「成人としての意見発表」を富津、大貫、佐貫、天羽、峰上地区の各代表 1 名の合計 5 名が成人としての意見発表を行い、その後、「新成人に贈る言葉」を天羽中学校の生徒が行い、午後 3 時に終了いたしました。衆議院議員浜田靖一氏をはじめ多くの方から祝電をいただきました。社会教育委員の皆様にもご協力をいただき、大きなトラブルもなく実施できました。

最後に(6)富津市民文化事業「ふつつ学びの門」について報告します。1月 31 日に富津公民館にて、第 7 回富津市民文化事業「ふつつ学びの門」ということで風の又三郎の講演を行いました。当事業は平成 15 年から隔年で実施されており、実行委員会の皆様と劇団わらび座の協力によりまして、宮澤賢治原作の風の又三郎講演を実施しました。当日は 640 名の来場があり、舞台で行われる生演奏や歌、民俗芸能などバラエティに富んだファンタジックな世界が表現されました。会場でアンケート調査を実施しましたところ 178 名の方の回答をいただくことができました。多くの方から「感動しました」、「とても素晴らしかったです」などの感想をいただきました。

以上で公民館からの報告を終わります。

(議長)
三富委員長

山口公民館長からの報告は終わりました。委員の皆様から、ご質問などございますか。

大野委員

学びの門のアンケートで悪かったという内容が 1 つもなかったのはすごいなと思いました。大抵アンケートを取るとマイナスの感想は出てくるものですが、これは内容が大変よかったのかなと感じました。成人式はお酒に関わる問題がありましたが、来年度はどうやって阻止するか悩みどころです。

<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>こういう風に実行委員をされている方は苦勞している点があることを知っていただければと思います。全体的には素晴らしい事業であったと思います。</p>
<p>神子委員</p>	<p>富津市民文化祭 2015 について、参観者が大きく増えたようですが、何か工夫したなどの要因はありますか。</p>
<p>(事務局) 山口館長</p>	<p>新しく何かを企画したということではありませんが、富津公民館で開催した小中学校音楽のつどいや子ども祭りで、児童生徒の家族が多く見に来たことが要因と思います。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>富津市民文化祭では実行委員長として関わっておりますが、各館ごとに行う多様な事業や市民の皆様が行う様々な活動によって、年々市民文化祭の内容は良くなってきていると思います。多くの方が見に来てくれることによって、発表者も非常にやる気が出てくるのではないかと思います。作品の展示も非常に多い数が展示されており、見に来ている人に話を聞くと、「富津市内にもこんなに素晴らしい作品がたくさんあるんですね。」という感想が聞けました。こういう機会が増えれば、市民の皆様が文化に触れる機会が増えるのかなと思います。富津公民館での小中学校音楽のつどいや小中学生の作品展示もレベルが高いと感じていますし、保護者の方も大勢が観に来ています。</p> <p>文化祭実行委員長として動いているからには、多くの方に来てほしい市民の文化の底上げをしてもらいたいと考えています。先ほどの公民館からの報告のように参観者が増えたことは、大変良かったと思っています。関係する方に感謝いたします。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>学びの門も文化祭と同じようにより良いものを市民の皆様に見てもらいたいという考えです。実行委員会の皆様が頑張っていますので、各委員にはこれらへの参加呼びかけをしていただければと思います。</p> <p>ほかにご質問などはないようですので、次の報告(7)平成 27 年度</p>

富津市社会教育事業について事務局から報告願います。

(事務局)
長濱係長

報告(7)平成27年度富津市社会教育事業の概要についてご報告いたします。お手元の資料の「平成27年度富津市社会教育事業報告」をご覧ください。平成27年度、教育部におきましては、教育総務課、学校教育課、教育センター、生涯学習課、公民館での体制の中、生涯学習課については、社会教育係、文化係、スポーツ振興係の3係で事業を行いました。

主な事業についてご報告させていただきます。1番、富津市社会教育委員会議ですが、今回の会議を含めた2回の会議のほか、自主研修会、市内施設の視察研修会を実施いたしました。詳細につきましては、後ほどご報告させていただきます。

次に、3番・4番、社会教育指導員と家庭教育指導員の設置につきましては、こちらにおります岩波正弥さんは市民会館、市川一成さんは富津公民館、仲野いく子さんには中央公民館に生涯学習課にて、地域性などを考慮した講座などについて指導助言をいただきました。

続いて、7番、社会教育関係団体の育成及び協力についてのうち、青少年相談員連絡協議会は森田委員を含め65名が青少年のためにご活躍いただきました。平成28年度からは第19期ということで66名の青少年相談員が活躍することとなっております。

資料2ページに移り、9番、図書活動の充実については、移動図書館、各公民館、市民会館の図書室の図書を購入し、利用の増加を図りました。

次に、10番、学級・講座の開設についてですが、学習需要に応じて、幅広い内容の事業を実施し、学習活動の充実を図りました。家庭教育支援事業としましては、家庭教育学級を5小学校、1中学校の6校で開設しました。開設学校は、富津小・大貫小・吉野小・竹岡小・金谷小・佐貫中の6校です。富津小学校や佐貫中学校では、助産師による命の授業や、思春期の体と心の変化について、大貫小学校では、親子クッキングとして「かん七」にて郷土料理であるはかりめ井につ

いての歴史や由来の学習や、親子でヨガ体験にも挑戦しました。吉野小学校では親子でドッジボール、金谷小学校においては岩波正弥社会教育指導員を講師に、星空鑑賞会を実施しました。竹岡小学校では、大学教授による食育に関するお話を伺いました。

次に、富津市文化事業の概要に移ります。

4番、指定文化財管理事業については、県や市指定の文化財所有者に対し、草刈りや、天然記念物に指定された樹木の施肥などの維持管理費の一部を助成いたしました。

5番、市指定文化財周知看板設置事業といたしまして、市内に所在する国・県・市指定文化財について、広く一般に理解してもらい、見学者への利便を図るため説明看板を設置しました。現在設置しているスチール製のものが錆びて見えにくくなっているため強化プラスチック製のものに換えて設置いたしました。今年度は木造阿弥陀如来坐像(八幡円鏡寺)と四面石塔(竹岡松翁院)の2件を実施いたしました。

次に、スポーツ振興事業に移ります。スポーツレクリエーションの振興として各種スポーツの大会を行い、地域スポーツの振興を図りました。

各種主要な大会行事については、健康ウォークラリー大会を大貫地区で5月17日、君津地区スポレク祭富津公園歩け歩け大会を富津公園で7月5日、ふれあいスポーツフェスタは10月12日、バスケットボールフェスタは総合社会体育館で11月21日、市民ハイキングをもみじロードで11月23日、元旦歩こう大会を市内3地区にて1月1日、元旦マラソン大会を同じく1月1日に、千葉県民マラソン大会は先日3月6日に無事終了いたしました。富津市の生涯学習事業については以上です。

(議長)
三富委員長

事務局からの報告は終わりました。委員の皆様からご質問などございますか。

<p>森田健一 委員</p>	<p>青少年相談員として、年間を通して活動してきましたが、イベントをやっても毎回参加する子どもは大体一緒に、新しく参加してくれる子は少ないのかなと思います。子どもの数が減っているというのがありますが、年々参加者は減っています。青少年相談員が実施する行事についてアピールしていかなければいけないと感じています。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>青少年相談員の事業には、かるた大会に杉田副委員長が様子を見に行きました。</p>
<p>杉田 副委員長</p>	<p>かるた大会に参加させていただいて、多くの大人が一生懸命に、準備運営をし、子どもたちが楽しんでいる姿が見ることができました。学校の先生や参加している子どもの保護者からは、「子どもが自発的に友達を誘って何年か続けて参加しています。」、「早い歳からこの大会に参加すると子どもたちは次の年もでるといようにリピーターになります。」といった話が聞けました。こういった影響を与えるなど富津ふるさとカルタは素晴らしいものだと思いますし、私たちももっと盛り上げていきたいという思いをもちました。昔、広報誌ふつつにこのカルタが取り上げられていたように、いろいろな方法を使って、情報発信をしていく必要があると感じました。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>我々、社会教育委員で様々な社会教育活動を見ていこうということで、顔を出しております。私は君津文化ホールでの行事に出るなど、杉田副委員長と手分けをしております。これからもいろいろな行事に顔を出させていただこうと思っています。</p> <p>ほかにご質問などはないようですので、次に5の議題に入ります。まず、議題(1)平成27年度富津市社会教育委員の活動についてですが、始めに事務局からこの1年間の活動を報告してください。</p>
<p>(事務局) 長濱係長</p>	<p>それでは、平成27年度富津市社会教育委員の皆様の活動について報告いたします。お手元の資料の、「平成27年度富津市社会教</p>

育事業報告」の1番と、このたびの会議開催のご案内文に同封いたしました、「平成27年度社会教育委員視察研修記録」をご覧ください。

委員の皆様のご活動としましては、先ほど申し上げましたように今年度は今回の会議を含めた2回の会議のほか、自主研修会や市内施設の視察研修会を実施いたしました。

まず、第1回の会議は、4月20日(月)午後2時から502会議室にて行なわれました。今年度、各団体から新しく委員を委嘱し、三富新社会教育委員長のもと、富津市社会教育委員会議がスタートしました。副委員長には杉田委員が選任され、君津地方社会教育委員連絡協議会理事には、三富委員長・杉田副委員長が、監事には高橋委員と磯貝委員が選任されました。その後平成27年度富津市社会教育事業計画についての質疑がございました。

第2回は、10月7日(水)、「富津市社会教育委員自主研修会」を開催しました。今年10月には、全国社会教育研究大会が千葉市で開催されることもあり、県の実行委員会議の報告と、研修会を兼ね、行なわれました。研修会には、委員である高橋栄二さんから社会教育の現状と課題や、他市の活動状況についてのお話を伺いながら意見交換がされました。ここでは、「公民館などにおける職員の対応」や、「各読書施設について改善が必要ではないか」、「地域の方々の学校現場への参加の様子」、「空き教室を活用した地域の方々と子ども達との交流」についてなど、様々なご意見が出されました。

これらを踏まえ、1月26日(火)には、社会教育委員視察研修会を実施いたしました。主に各施設にある図書室の現状や、市内を巡回している移動図書館を視察し、参加された各委員の皆さまに記録していただいた感想やご意見をまとめたものを今回の会議資料として事前に委員の皆様にお送りいたしました。このご意見の中には、「施設設備の改善」や、「人的な支援が必要ではないか」などのほか、市民の利用しやすい図書室にしていく事を前提に「図書の整理が必要である」などの感想やご意見が投げかけられました。このほか、本日都合により欠席されておられます委員の方々からも、ご意見を伺っております。「ボラ

<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>ンティアの活用については確かに大事だと思う。」「社会教育委員の権限がどの程度あるのか認識不足ですが、1つでも改善に向けての今後の活動が大切であると思います。」「学べる場、環境などの工夫が重要であると思います。多少のお金がかかっても利用しやすい環境づくりの必要性を強く感じました。」などのご意見をいただきました。</p> <p>そして、本日の第2回会議となっております。</p> <p>平成 27 年度の社会教育委員の活動につきましては以上です。</p> <p>会議の開催時期については、多くの委員が出席できるように事務局にはよく考えて決めていただきたい。例えば、大体何月頃と事前に決めておくことによって、より多くの委員が出席できるのではないだろうか。</p> <p>今年度は研修を含めて4回の会がありました。来年度は会議を3回行う予定ですので、今日の会議での意見をもとにより前進した意見が出ればと思います。来年度の柱となる議題があれば、会議の意義が表しやすいので、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>森田久委員</p>	<p>社会教育委員会会議の研修会で得たものを、老人クラブの会員に伝えていきたいと思います。</p>
<p>小曽根委員</p>	<p>以前も社会教育委員として会議に参加したことがあり、今は2回目の任期となります。社会教育委員会会議では、議題を設定することが非常に難しいと感じています。今年度は研修会や、公民館を視察したことは、今までにない新たな取り組みだと思います。今後もこういった方法を進めていくと良いのではと思います。</p>
<p>(議長) 三富委員長</p>	<p>今年度テーマにした公民館については、公民館運営審議会という別の審議会があり、私と大野委員、宮内委員もそちらで委員になっています。両者は密接なつながりがありますし、いろいろなことが聞ければと思っています。今度は利用者の立場で公民館について意見があ</p>

れば、聞きたいと思います。

大野委員

利用者として中央公民館を使うことが多いですが、一番古い公民館であるため、電圧の問題で活動に支障が出る場合があります。電気に詳しい人が活動者に居ますので、うまいこと調整してもらっていますが、使えないときは残念に思います。

磯貝委員

中央公民館と市民会館の図書室を使うことがあります。中央公民館は専門書なども多く配架しており、借りていく人も多いかなどの印象を受けます。しかし、配置の関係などで使いづらいという声をよく聞きます。市民会館の図書室は明るいし、新しい本もあるので使いやすいと思います。自主研修会では図書室の課題が挙げられましたので、そういった形で議論を深めていければと思います。

杉田
副委員長

中央公民館の図書室は狭いという問題があり、図書室内でちょっと本を読んでみるというのがしづらい環境です。しかし、研修の際には、図書室の隣の部屋に自由に使ってくださいという貼り紙がしてあり、開かれていて使いやすくなっていました。この部屋と図書室を遮る壁は取り払うことができるのか聞きましたが、予算がかかるものなのでなかなか簡単にはいかないでしょう。しかし、部屋を開けるなどちょっとした工夫で課題を少しでも解消できるのではないのでしょうか。

市民会館は、色々な団体が活動しているからかとても明るい雰囲気と感じています。職員の方から利用者にどンドン声をかけているなという印象を受けました。これは、事例報告があった君津市の公民館と同じように職員のほうから地域に入っていく姿勢があるなと感じました。

小曾根委員からもありましたように、この会議のテーマが絞れないという点については組織に問題があるのでは無いかと思っていました。委員の皆様は、それぞれの団体から選ばれている方が多く、自分の団体の運営で忙しいため、この会議は報告事項で終始してしまうのかなと思っていました。副委員長という立場をいただき、改めて社会教育の

現場を見てみると、委員の皆様方のネットワークを生かせるのではと思いました。例えば、富津公民館で展示されている貴重な歴史資料はただ展示するのではなく、説明できる人がいると素晴らしいと感じました。職員がその役をやるには、日々の業務で手いっぱいのため、宮内委員のように詳しい方が説明するとよいかとも思いました。各団体から選ばれている皆様の力をこういった形で使うことはできないかなと強く感じました。

この会議の中で皆様と同じテーマ、例えば青少年や文化財、子どもの読書推進に関する事など、決めてより深い議論を重ねることができればと思っています。やってみて何年か経過したあとにこれそれが実現できてよかったなどと語らうことができるとよいと強く思います。

(議長)
三富委員長

議論が重ねられるうちに、焦点が合ってきて何かテーマを決めるといった方向性が見えてきているのではないのでしょうか。現場の中でやっている職員の意見を聞きたいと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)
中後課長

教育委員会から諮問をしたことに対して、社会教育委員会議で答申をしていただくといったことが考えられますが、そのような題材は多くはありません。しかし、こういったことがあったときに対応できるように視察や研修を重ね、事務局が聞くことがあまりない利用者としての意見を聞くことができればと思います。

図書室に関しては、環境を良くしていくことができればいいのではないかと思います。少しずつ環境を変えていくことならば、予算も必要としないので、積み重ねていければと思います。

どんどん工夫を進めていくとボランティアが必要となってきますが、例えば図書の返却については係員でなく、借りた人本人が返却処理の手続きを行なうような事も良いのかなと思います。各館の図書室の活動については、広く知識や経験を持つ指導員の方々の力も借りつつ、引き続き行っていけたらと考えております。

取り上げる課題の数ですが、2つか3つくらいであれば可能だと思います。

ますが、あまり多いと方向性を失ってしまいますので、少しずつやっていくことが良いのではないのでしょうか。

(事務局)
山口館長

3館それぞれあるわけですが、中央公民館は築43年、富津公民館は32年、市民会館は26年とそれ相応の年月が経過しております。鉄筋コンクリートの建物の場合は、30年くらいを目安に改修、60年で更新というのが一般的です。利用者には快適に使っていただければよいですが、財政面からもそのようにできないのが現状です。こればかりはすぐに対応ができませんので、ソフト面での工夫で少しでも快適に利用していただければと思っています。

総合管理計画が策定され、公民館に限らず市の施設がどのように整備されていくか検討していくこととなります。君津市や木更津市の社会教育関係職員は、資格者が多く非常にレベルの高い運営がされていますが、富津市は社会教育については専門的な知識を持たない職員が担当し、数年で入れ替わるという現実があります。専門的な職員が居れば、レベルの高い運営ができると思いますが、行政の事情でそこまでできてはいないです。その代わりソフト面で皆様に快適に利用していただけるよう努めていきますのでよろしくお願ひします。

(議長)
三富委員長

今、話がありましたように施設面については、いまず改修するということは難しいですし、職員も市民課が行う業務を兼務しているという状況のため、この会議での要望がすんなり通るわけではないと思います。ただ、協力・協同というように住民と委員、職員がそれぞれ協力して、より良くするための知恵を出し合い、汗を流して進んでいくことが必要なかなと思います。委員の皆様には今一度ご尽力いただければありがたいと思います。

大野委員

公民館のホールで活動することがありますが、お客さんが座る椅子の肘掛が壊れているところがあります。使わせていただく立場として、仲間内でそういったものが修理できる技術をもっているメンバーが直して

	<p>います。</p>
宮内委員	<p>使っていく中で、このような故障だらけだといけないから、自分たちで直していけるといいねという発案のもと動いております。来た人が今回はきれいになっていたよねという声が聞けると大変うれしいです。</p>
大野委員	<p>使う立場だから当たり前かもしれないですが、富津公民館入り口付近にあるソファの汚れがひどかったので、カバーを用立てるなどしています。</p>
(議長) 三富委員長	<p>利用者の安全や使いやすさという点からも生涯学習課・公民館では、こういった点にも留意していただければと思います。</p>
(事務局) 山口館長	<p>本来であれば、管理者が直さなければなりません、職員で直すのは難しいですし、業者に頼むと費用が発生するため、修理が行き届いていない状態です。公民館利用者のうち、器用な方に修理をしてもらうことが何件もあり、大変ありがたく思っています。</p>
磯貝委員	<p>利用者の立場から中央公民館にお願いがあります。中央公民館の調理室はスリッパに履き替えなければいけません、富津公民館と市民会館の調理室は履き替えずに入ることができます。衛生上の問題などがあるのかとは思いますが、履き替えをせずに入室ができると大変助かります。他の2館と同じようにすることはできますか。</p>
(事務局) 山口館長	<p>中央公民館については、衛生上の問題からスリッパに履き替えてもらうこととしています。今後どのように対応するかについては協議させていただきます。</p>
(議長) 三富委員長	<p>公民館の施設利用についていくつかの意見が出てまいりました。公民館活動は、人づくりの核となってもらうよう期待しております。施設が</p>

	<p>老朽化していることは承知しておりますが、改善されていくと社会教育委員としても利用者としてもうれしく思います。</p> <p>社会教育委員が行政へ意見を出していくことだけでなく、行政から社会教育委員へ今後の指針を示すほか、問題提起をするようにぜひお願いするところです。社会教育委員は市民目線での意見表明や他市との情報交換する中で知識を深めていこうと思います。欠席委員からの意見には、「社会教育委員の役割がどこまであるのか」、「まだまだ勉強不足である」といったものがありました。これに加えて、会議の開催時期についても行政には検討していただければと思います。</p>
宮内委員	<p>文化協会には約 80 団体約 600 人が加入しており、それぞれが各館で活動しております。構成団体には、会議で話があったことについて、理事会などを通じて伝達するように心がけております。その中で、個々の構成団体が公民館などの利用申請をしようとするとうまくいかない場合があります、事務局長が集約して申請をするようになりました。各館の担当者には、申請に関する調整について利用者と相談しながらやっていただければと思います。</p>
神子委員	<p>市民会館は駐車場が狭く、人が多く集まるようなイベントがやりにくいということで、天羽地区の市民は困っています。大きいイベントは大体の場合、富津公民館で行うこととなり、天羽地区からは遠いため参加しづらいです。たまには市民会館でも大きい事業を行い、天羽地区の市民が参加しやすいようになると良いかなと思います。</p>
(議長) 三富委員長	<p>なかなかすぐには改善できる問題ではありませんが、努力していただければと思います。社会教育委員の活動のなかで、視察研修をおこない課題が見えてきたところと思います。</p> <p>富津市には多くの文化財がありますが、それぞれが点として存在するにとどまっておりますので、線や面でつなぐことができればなと思います。</p>

<p>宮内委員</p> <p>(議長)</p> <p>三富委員長</p>	<p>君津市の地価は上昇しているのに対し、富津市は下降しているとの報道がありました。隣接する市としては、人口増加が願いだと思えます。若い人たちがどんどん戻ってくるように、若い人が住みやすい、子育てしやすい環境を整えることが必要だと思います。家庭教育事業も関係すると思えますので、社会教育の役割となってくると思えます。</p> <p>富津市文化協会では、市民の皆様から提供いただいた歴史的価値のある物品をたくさん集めました。飯野コミュニティセンターに所蔵しておりましたが、飯野小学校の協力により空き教室に移転させることとなりました。移転作業の中で、保存できる数が減るため選別をいたしました。皆様にみてもらうような施設があれば、そこに展示できるかと思いますが、学校の空き教室においている現状です。県の博物館に文化協会所蔵の品が貸出依頼されるものもあります。このようなものを展示できる施設があれば、非常に良いと考えます。</p> <p>当時、私は飯野小学校長としてこの件に関係しており、学校内に展示していれば、社会科教育で児童に見てもらえるなどの良さがありました。今は緊急避難的な措置として小学校においてあると思えますので、どのようにしていくかは行政の方で検討してもらいたいと思えます。</p> <p>来年度の方向性についてですが、公民館については社会教育委員で対処できる問題と、人員や予算を要する問題があります。今年度議論してきたものを柱にするのか、先ほど話があったように文化財を議論するのか決めることとなります。社会教育委員会会議での守備範囲が非常に大きくなってしまいますが、どのようにするのか検討していくこととなります。来年度は社会教育全国大会での分科会を君津地区でも担当することとなり、市内企業に協賛金をお願いしてきました。</p> <p>今後は、全国大会の件と富津市社会教育の在り方に関する件を議論していくことと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
--------------------------------------	--

各委員	異議なし。
(議長) 三富委員長	この会議で来年度の方向性が決定できればよいと考えますが、事務局としていかがでしょうか。
(事務局) 中後課長	来年度は、3回の社会教育委員会議の開催を考えております。そのような中で、年度当初の会議におきましては、問題点の指摘や意見交換をすることが重要と考えております。行政としましては、図書室環境の整備について、委員から意見をいただく中で進めていきたいと思っています。それには、図書の保管場所の検討、選書、後々の管理をトータルで整理しながら当面進めていきたいと思っています。
(議長) 三富委員長	これをもちまして、本日の議題を終了としたいと思います。委員の皆様のご発言ご協力に感謝いたします。進行を事務局へお返しします。
(事務局) 中後課長	以上を持ちまして、平成 27 年度第2回富津市社会教育委員会議を閉会といたします。お疲れ様でした。